

令和7年度 保育園・幼稚園と連携した歯と口の健康づくり事業

1

個人や子育て関係者へのアプローチ

歯科保健活動推進事業

5歳児リッパ―歯みがき教室

- 区立保育園・幼稚園 全園

NEW!

- 私立保育園・幼稚園等 抽選 60園

歯科保健推進園

- 区立保育園 新規園 6園
経験園 12園

歯科保健指導媒体貸出

2

集団の場で展開するアプローチ

フッ化物洗口支援事業

フッ化物洗口勉強会

フッ化物洗口実施支援

- 継続園 1園

NEW!

- 新規開始園
私立保育園 7園
私立幼稚園 1園
区立保育園 1園

フッ化物洗口実施支援

【目的】 むし歯予防・健康格差対策として、幼稚園・保育園等で実施するフッ化物洗口を支援する。

【対象】 幼稚園・保育園等に通園する**5歳児**

- 保護者が「実施希望確認書」で希望した子のみ
- 希望しない子は、水道水でのうがい

【方法】 **毎日30秒**、フッ化物洗口液で**ぶくぶくうがい**をする



洗口液を5ml
口に含む



30秒間
ぶくぶくうがい

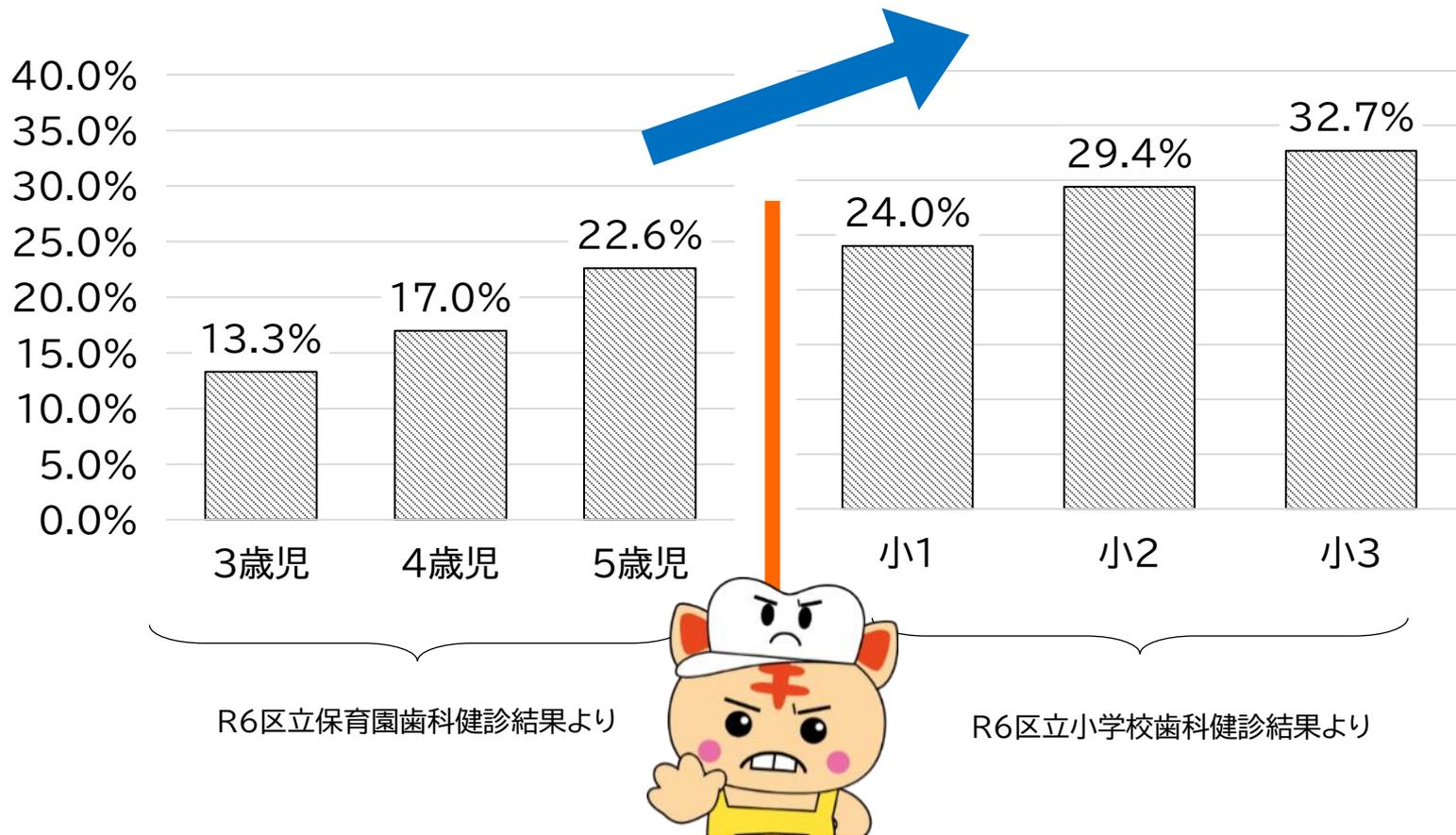


静かに
吐き出します

※ この後30分間は、口になにも入れない

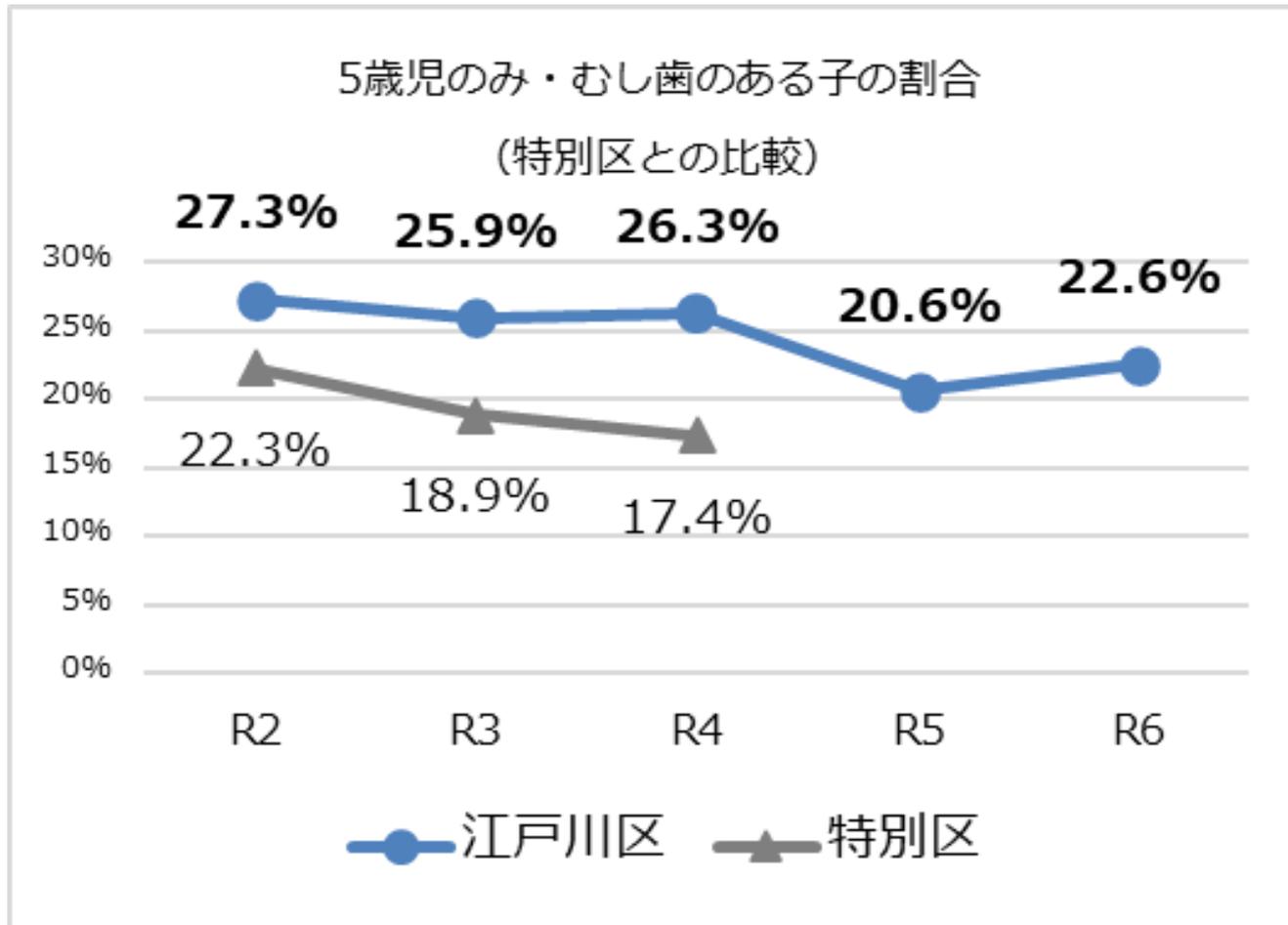
むし歯のある子の江戸川区の状況は？

むし歯のある子の割合(年齢別)



永久歯の萌出開始の重要な時期だから、ここでストップしたい！

むし歯って減っていると言われてますが…



- 20% = 5人に1人ということになります…
- 特別区全体と比較するとまだ高い

保育園や幼稚園等の集団で実施する理由

■ むし歯がある子どもとそうでない子どもの健康格差の縮小

(経済的に困窮した家庭や、時間を取りにくいひとり親家庭等では特にむし歯が多い傾向がある(内閣府資料より))

■ むし歯のハイリスク者はもちろん、今むし歯がないお子さんのむし歯予防にもなる！



園児

- 家庭で個人的に実施するよりも継続しやすい
- **子ども自身が**歯科保健に対し**興味関心**を持つ



保護者

- 個人で行うより**経済的・安全**に実施できる
- 歯科保健に対する保護者の理解が増し、波及効果が得られる



園

- 保育園・幼稚園等における歯科保健活動の活性化
→ 集団で行うことで **洗口自体が健康教育**にもなる

なぜ就学前の5歳児を対象としているのか

江戸川区立の小・中学校は、フッ化物洗口を開始(R5.5～)

ただ…永久歯が生え始めるのは5～6歳

なのに小学校1年生で永久歯にむし歯がある子がいる！

早期にフッ化物洗口を始めたほうがむし歯が少ない結果だった研究の例

① 新潟県の高校生の調査

- 4歳児から開始した生徒のほうが、小学校から始めた生徒より、永久歯のむし歯が少なかった！
- フッ化物洗口を経験した生徒は、経験していない生徒と比べてむし歯が56.3%少なかった！

② 岩手県の事例

- 5歳児から開始した子のほうが、小学校から開始した子より6歳臼歯のむし歯が少なかった！

保育園・幼稚園のむし歯予防対策は

生涯むし歯ゼロのスタートライン です

フッ化物洗口支援事業の流れ

フッ化物洗口指示書の発行

歯科医師が園に対しフッ化物洗口の指示をします

園内実務研修会

園職員向けの研修を行います

保護者に周知(質疑応答)

文書にて保護者に周知します

「実施希望確認書」提出

フッ化物洗口の保護者の希望をとります

洗口準備

2週間の水でのうがいをします

洗口開始

フッ化物洗口を開始します

この事業で区が支援すること



①フッ化物洗口支援歯科医師の配置

集団で行うフッ化物洗口は、歯科医師等の指導の下、適切な方法で安全に実施します。開始にあたっては、区事業としてフッ化物洗口支援歯科医師を配置します。(江戸川区歯科医師会に委託)

嘱託歯科医の先生にも、実施についてご了承くださいよう、園から事前に相談をお願いします。



フッ化物洗口支援歯科医師の主な役割

- フッ化物洗口指示書の発行
- フッ化物洗口剤の処方やボトル等の提供
- 園からの相談対応

この事業で区が支援すること



②フッ化物洗口実施のサポート

園がフッ化物洗口を円滑に実施できるよう、必要な物品や導入支援等を行います。

園の費用負担
無料！

- フッ化物洗口剤・ボトルなどの物品提供
- 洗口手順やよくある質問をまとめたマニュアルの提供
- 保護者への文書・リーフレットのテンプレートの提供
- 園児のぶくぶくうがいができているかの確認
- フッ化物洗口液でのうがい初日の立ち合い確認

フッ化物洗口支援歯科医師が処方・分配する物品について

<input type="checkbox"/> フッ化物洗口剤 	必要分	ミラノール顆粒11%1.0g包。薬剤を使用する際は、劇薬扱いなので、鍵のかかる戸棚等に保管。「フッ化物洗口薬剤管理簿」に記入してください。
<input type="checkbox"/> 専用ディスペンサー ボトル 	クラス数	各クラスで園児に分注するために使用します。メーカーで販売している専用ボトルを使用します。
<input type="checkbox"/> カルシウムイオン飲料 	1本	洗口液を誤って飲み込んだ際に使用することがあります。詳しくはマニュアルをご参照ください。

● 園で準備する物品

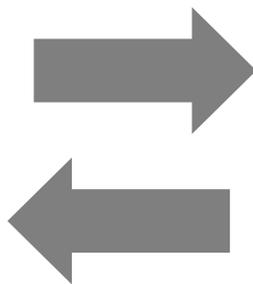
<input type="checkbox"/> 水道水	クラス数	浄水は使用せず、水道水で薬剤を溶解してください。
<input type="checkbox"/> カゴ	クラス数	ボトルと予備の紙コップを入れてクラスに持ち出します
<input type="checkbox"/> 薬剤保管庫		フッ化物洗口剤は鍵のかかる戸棚等で保管します。
<input type="checkbox"/> コップ(予備のコップ)	人数分	必ずプラスチック・紙製のコップを使用します。
<input type="checkbox"/> 時間を計るもの	クラス数	洗口用動画やタイマー等を使用します。

保護者への周知について

①文書にて説明



園



保護者

②「実施希望確認書」
提出(全員)

保護者からの質問などは、園から回答します。
困った場合フッ化物洗口支援歯科医師と相談できます。



保護者

①質疑



②回答



園職員

必要時
相談



フッ化物洗口
支援歯科医師

この事業で区が支援すること



③園内職員への研修会の開催

進め方や洗口方法について
園内職員への説明を行います。

園の費用負担
無料！

- フッ化物洗口の方法について(区職員)
- 洗口液の作成の実演(フッ化物洗口歯科医師)

フッ化物洗口を始める前の準備

洗口後30分飲食を避けることができる時間帯で設定



- ・ フッ化物洗口について知らせる
- ・ 水でぶくぶくうがいと吐き出しの練習
(目安 約2週間)



健康部歯科衛生士

- ・ 洗口の確認巡回

フッ化物洗口液の調製について



量の
確認

1クラス園児数	フッ化物洗口剤	水道水	作成回数
5~12人	2包	400ml	週1回
13~20人	3包	600ml	週1回
21~28人	4包	800ml	週1回



容量最大
800ml

作成

洗口剤と、ボトルの線まで水を入れ、軽く振って溶かす

管理

園児の手が届かない場所で、かつ直射日光の当たらない涼しい場所
(冷蔵庫など)に保管

廃棄

洗口液は作成後、1週間後を限度として廃棄

消毒

専用ボトルは週に1回程度消毒

フッ化物洗口液の準備



園職員

園児

- フッ化物洗口液での洗口を開始(卒園まで)



フッ化物洗口
支援歯科医師



健康部
歯科衛生士

- 初回の巡回

分配

安定した机上で、水平に置き1回プッシュして注ぐ

洗口

30秒間ぶくぶくうがいをする
歯全体にいきわたるよう、口は閉じて、頬をよく動かす

廃棄

バケツにまとめ流しに捨てる

参考文献

「フッ化物洗口の推進に関する基本的な考え方」について 医政発1228第7号（R4.12.28）

「フッ化物洗口マニュアル」（2022年版） 研究報告書 厚労省

※1 新潟県の高校生の調査

西蒲原郡内全公立高校2年生歯科健診 1990～1991年（口衛誌,43,P192,1993）

※2 岩手県平泉町の調査

「う蝕予防の実際 フッ化物局所応用実施マニュアル」P58 日本口腔衛生学会フッ化物応用委員会編